

2000年12月の東北地方の天候(速報)

【12月の特徴】

- ・時々寒気南下
- ・風雪による災害の発生

(1) 概況

上旬・中旬は前線や低気圧が短い周期で通過し、通過後は寒気が南下した。下旬は冬型の気圧配置が持続した。このため、東北日本海側の天気は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側の天気はおおむね周期的に変化し、晴れの日が多かった。

前線や低気圧の通過や強い寒気の南下により、時々風雪が強まり、ふぶきによる交通障害や強風による家屋の損壊、大雪によるなだれなどの災害が発生した。

平均気温は平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でやや少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でやや多い。

注) 本資料は、1961~90年の30年間の平均値を平年値として用いており、「やや高い」などの階級区分も1961~90年のデータに基づいています(2ページ脚注参考)。

(2) 天候経過

上旬： 寒冷前線が短い周期で通過し、前線の通過後は寒気が入った。このため東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多かった。東北太平洋側は前線の影響は小さく、晴れの日が多かった。

5~6日は、寒冷前線の通過後風雪が強まり、東北各地で交通障害などが発生した。

平均気温は東北北部でやや低く、東北南部で平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でやや少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でやや多い。

中旬： 11~13日は冬型の気圧配置が続いたが、その後は低気圧や前線が短い周期で通過した。

このため、東北日本海側ははじめ雪の日が続いたが、その後天気は短い周期で変化した。東北太平洋側では天気はおおむね周期的に変化した。

強い冬型の気圧配置となった11~12日は、東北各地で大雪や強風となり、ふぶきにより宮城県内の東北自動車道で64台の玉突き事故が発生するなど東北各地で衝突事故が多発した。日最大瞬間風速は秋田で31.2m/s(11日)、仙台で23.3m/s(12日)などだった。また、19日は低気圧の通過に伴って東北各地で強風となり、秋田県では住宅が破損するなどの被害が発生した。19日の日最大瞬間風速は秋田で34.5m/s、新庄で30.0m/sを観測した。

平均気温は平年並。降水量は東北北部でやや多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部でやや少なく、東北南部で平年並。

下旬： 旬の初めと終わりは低気圧の接近で冬型の気圧配置が緩んだが、24~29日は冬型の気圧配置が持続した。このため、東北日本海側は雪の日が多かった。東北太平洋側では晴れの日が多かったが、強い寒気の南下により雪の日もあった。

強い冬型の気圧配置となった25~26日は、東北各地で大雪や強風となり、山形県月山の月の沢ではなだれにより3名が死亡した。また、各地で交通障害がおこった。26日の日降雪量は青森29cm、若松28cmを観測した。

平均気温は平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でやや少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部でやや多い。

(3) 月統計値の極値・順位の更新(月平均気温、月降水量、月日照時間、月最深積雪の3位まで。但し、白河の月降水量は統計期間が短いため、1位に該当した場合のみ示す。)

<月平均気温の低い値> <月降水量の多い値> <月日照時間の多い値>

第2位 新庄 0.4	第2位 新庄 274.5mm	第3位 若松 87.6h
------------	----------------	--------------

本資料のデータは速報値です。確定値は16日に決定します。

本件に対する問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係(電話：022-297-8110)

表.月気候値(2000年12月)

地 点	月平均気温(平年差)		月降水量(平年比)		月間日照時間(平年比)		月最深積雪	
	階級	mm	%	階級	h	%	階級	cm
青 森	0.4 (-0.6)	平年並	208.0 (128)	やや多い	49.7 (94)	平年並	65	平年並
深 浦	1.8 (-0.5)	平年並	135.5 (100)	平年並	34.9 (101)	平年並	16	平年並
む つ	0.2 (-0.8)	平年並	75.5 (78)	やや少ない	70.0 (95)	平年並	8	---
八 戸	0.7 (-0.7)	平年並	28.0 (63)	やや少ない	116.2 (91)	やや少ない	10	平年並
秋 田	2.2 (-0.3)	平年並	144.5 (84)	平年並	46.4 (97)	平年並	13	平年並
盛 岡	-0.1 (-0.6)	平年並	56.5 (80)	やや少ない	114.1 (108)	平年並	14	平年並
宮 古	2.1 (-0.8)	平年並	10.5 (22)	やや少ない	168.1 (111)	やや多い	8	やや多い
大 船 渡	2.4 (-0.8)	平年並	20.5 (46)	平年並	146.7 (105)	平年並	3	平年並
山 形	1.7 (-0.4)	平年並	75.0 (89)	平年並	93.2 (114)	やや多い	19	平年並
新 庄	0.4 (-1.4)	---	274.5 (138)	---	39.6 (106)	---	71	---
酒 田	3.8 (-0.4)	---	200.0 (99)	---	45.9 (103)	---	13	---
仙 台	3.6 (-0.4)	平年並	19.0 (53)	平年並	153.5 (109)	やや多い	6	平年並
石 卷	2.5 (-0.6)	平年並	22.5 (69)	平年並	171.9 (114)	かなり多い	6	やや多い
福 島	3.6 (-0.2)	平年並	31.0 (72)	平年並	131.3 (101)	平年並	17	やや多い
白 河	2.7 (+0.3)	平年並	5.0 (***)	---	173.6 (111)	やや多い	1	---
小 名 浜	6.0 (+0.3)	平年並	6.5 (16)	やや少ない	208.5 (118)	かなり多い	-	平年並
若 松	1.6 (+0.0)	平年並	68.0 (75)	平年並	87.6 (125)	かなり多い	22	平年並

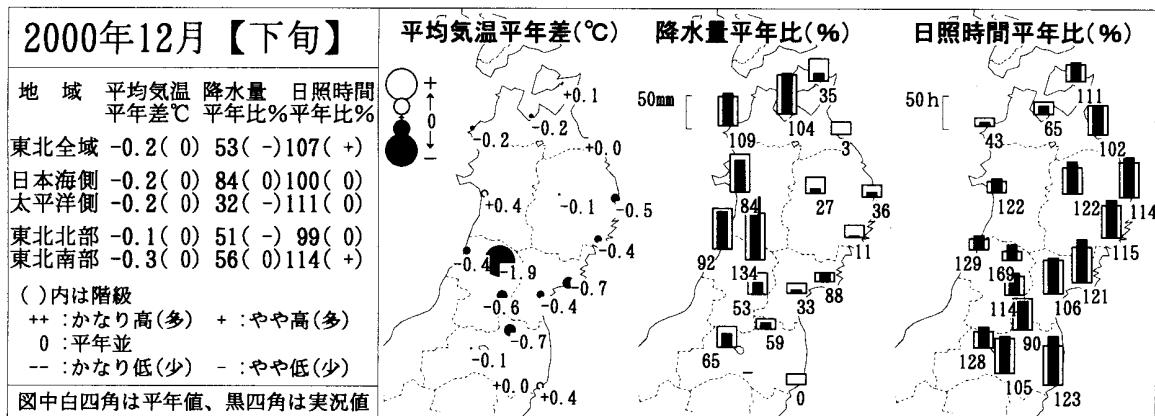
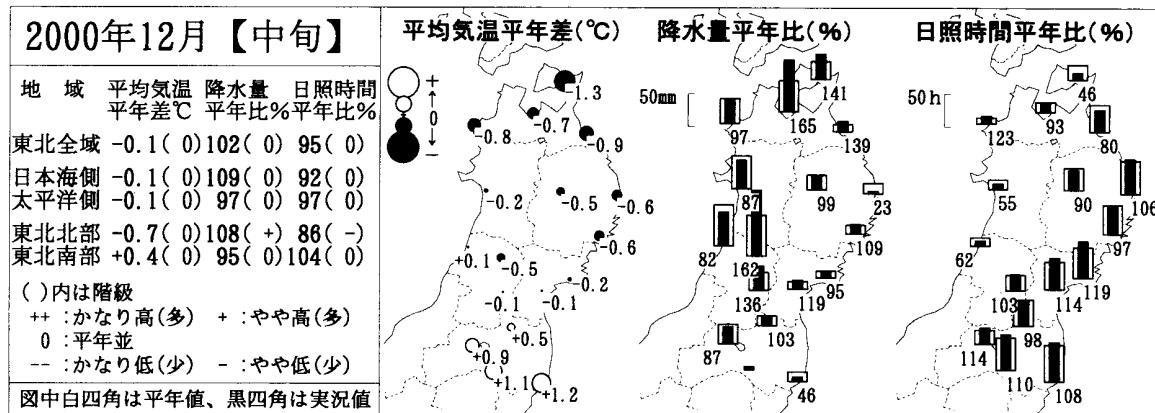
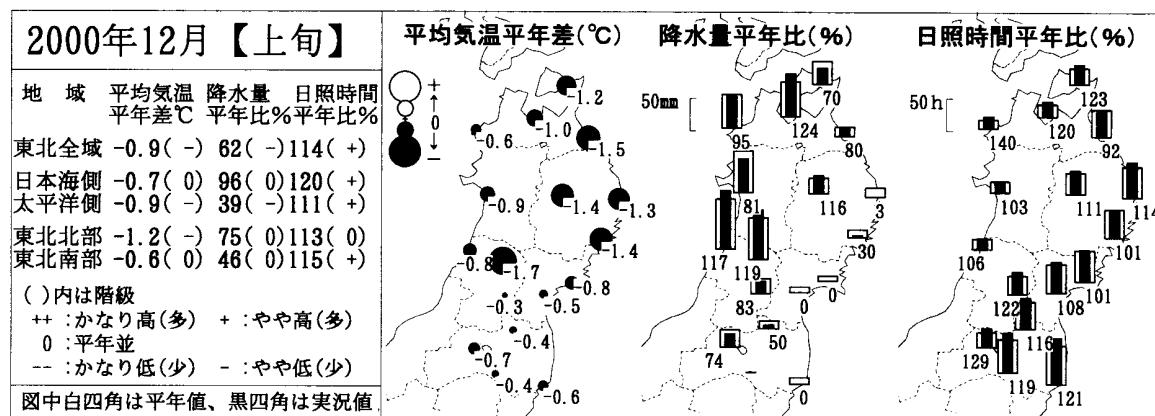
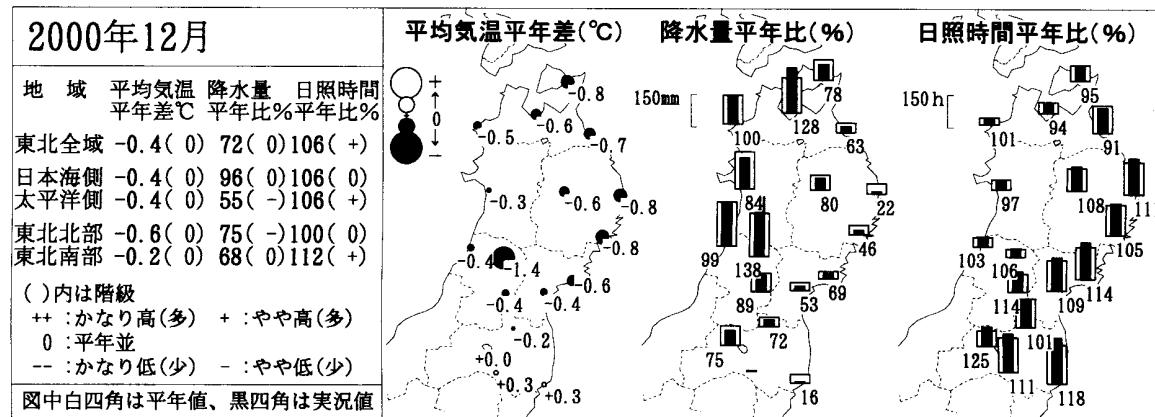
× : 欠測) : 欠測日を含む - : 現象なし *** : 統計期間が 8 年に満たないため平年値がない。

--- : 統計期間が 24 年に満たないため階級区分値がない。

(酒田は準平年値(1971～1990年)、新庄は累年平均値(1986～1996年)との差(比)を示す)

階級は「かなり低い(少ない)」「やや低い(少ない)」「平年並」「やや高い(多い)」「かなり高い(多い)」の 5 階級に区分されています。それぞれの階級幅は、1961～90 年の 30 年間ににおいて出現した値を小さいほうから、10% (3 個)、20% (6 個)、40% (12 個)、20% (6 個)、10% (3 個) に区分し、階級の境界値は下位の階級の最大値と上位の階級の最小値を平均した値としています。統計年数が 24 年以上 30 年未満の場合についても同様の割合で区分されていますが、24 年未満の場合には階級区分がありません。

図. 2000年12月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は 1961~90 年。但し酒田は準平年値 (1971~90 年)、新庄は (1986~96 年) を使用。白河の降水量は、統計期間が短く平年値がないので実況値を表す黒四角のみ表示。